

聖霊降臨節第4週 歓迎礼拝

2017年6月25日

第一礼拝(午前8:00~) 歓迎礼拝(午前10:30~) 夕拝(休会)

第1部 プレイズアワー
PRAISE HOUR (賛美の時)

※歓迎の賛美 「5つのパンと2匹の魚」 — 同
「いのちの光」「聞け我らの賛美」

第2部 バイブルアワー
BIBLE HOUR (みことばの時)

聖書朗読 『マタイの福音書』14章22-33節(新約29頁) …… 司 会 者

黙 想 …… — 同

メッセージ 「嵐の中で」 …… 辺土名 誠治伝道師

※応答の賛美 新聖歌325「歌いつつ歩まん」 …… — 同

感謝の献金 (新聖歌58) …… — 同

感謝祈禱 …… 小林 洋子姉

諸 報 告 (来信、集会案内、来会者紹介、報告および暗唱聖句) …… 司 会 者

※頌栄の賛美 新聖歌198「**GOD BLESS YOU**」(1節のみ) …… — 同

※派遣の賛美 新聖歌54「主の祈り」(前方スクリーン参照) …… — 同

※祝福の祈り …… 辺土名 誠治伝道師

※後 奏 (新聖歌59-7)

第3部 フェロウシップアワー
FELLOWSHIP HOUR (交わりの時)

愛餐会

※印の所では、お身体の不自由な方以外はご起立をお願いします。

第一礼拝	司 会 者：近 伸之牧師 説 教	音 響：片山 勝三兄 献 金：沼田佐代子姉	
司 集 映	会：片山 勝三兄 会：横堀 信子姉 像：男性有志	音響・賛美：有志にて 説教の録音：片山 健司兄 説教の録画：山崎 敬典兄	C S 担 当：佐藤 繁実兄 掃 除：小林 洋子姉

説 教 メ モ

先週の暗唱聖句

「信仰は望んでいる事がらを保証し、目に見えないものを確信させるものです」
(『ヘブル人への手紙』11章1節)

今週の中心聖句

「そこで、舟の中にいた者たちは、イエスを拝んで、『確かにあなたは神の子です』と言った」
(『マタイの福音書』14章33節)

説教者のサイン：

個人、団体からの来信

2017年6月25日

教団より定期便/新潟福音放送協力会よりニュースレターNo.234および会計報告/
「山形からの恵み」Vol.3/小針福音ルーテル教会(若林牧師)より、感謝のカード/
宣教区会議の議事録/「Move On!」およびEnglish Campの案内/「global」第78号

先週の集会出席者数

6/18(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子— 中学男子— 高校男子— 男児1 成人男性— 幼児女子3 小学女子1 中学女子— 高校女子— 女児4 成人女性3		
	第一礼拝	男2 女4	6/19(月)	実用書道教室 男2 女8(内求道1)
	第二礼拝	男12 女19 計31	6/19(月)	月曜家庭集会 男3 女4
	(子ども)	男児1 女児4	6/21(水)	ネヘミヤ祈禱会 男3 女6
	夕 拝	(休会)	6/23(金)	しゃべり場タビタ 男— 女4
			6/23(金)	金曜祈禱会 男— 女4

諸 集 会 の ご 案 内

	※月に一回、実用書道教室を開催		
6/26(月)	月曜家庭集会	休会	
6/28(水)午後7:30	バルナバ祈禱会	教会堂	司 会：小山 千春姉
6/30(金)午後1:30	しゃべり場タビタ	渡邊智子姉宅	問合先：長谷川睦子姉
6/30(金)夜	金曜祈禱会	教会堂	

7/3(日) 聖霊降臨節第5週

第一礼拝 午前8:00	司 会 者：近 伸之牧師 説 教	音 響：片山 勝三兄 献 金：沼田佐代子姉	聖餐準備：担当役員 配 餐：担当役員
教会学校 午前9:00		担 当：近 伸之牧師	
聖餐礼拝 午前10:30	司 会 者：近 伸之牧師 集 会：小林 洋子姉 山岸あけみ姉	配 餐：横堀 正美兄 奏 楽：横山 洋平兄 説教の録音：片山 健司兄 説教の録画：近 伸之牧師	感謝祈禱：笹川 清子姉 掃 除：小山 千春姉
礼拝について	聖書：『ヨハネの福音書』3章1-21節		
主日の予定	C S 教師会	午後1:00~	教会堂にて
夕 拝	※諸般の事情により、夕拝は休会とします		

報 告

- 礼拝の感謝
主日礼拝の恵みを感謝します。本日は宣教区一斉講壇交換で、山の下福音教会伝道師の辺土名誠治先生がみことばを語ってくださいました。感謝します。この後は第3部として愛餐(昼食)の時を持ちますので、どなたでもご参加ください。なお、本日近牧師は新発田キリスト教会で奉仕しています。
- 宣教区内外の予定について
7月17日(月・祝)に、第2回開拓未自立教会支援デーが開催されます。また、7月22日(土)にはエバーグリーンコンサートと宣教区婦人会主催の講演会が行われます。いずれも案内を掲示してありますので、参加確認表に記入してください。
- 先週の来会者のため
6月18日(日)の第二礼拝に、**横山遼大くん**(敬和高1年)、**倉島榮奈さん**(敬和高3年)、**古川華恋さん**(敬和高3年)、**吉川真理さん**(敬和高3年)、**瀧澤健斗くん**(敬和高3年)が出席されました。感謝します。

今は転職が珍しくない時代になりました。若い人が、有名企業に就職したのに辞めて、自分で仕事を始めたり、リストラでやむなく転職するという場合も少なくありません。

そんな中でも、びっくりするような転職をした人がいます。松岡広和さんは、お寺のお坊さんでした。ところがキリスト教会の牧師になったのです。ご自分の転職をパンフレットに書いておられるのですが、その題が『もと僧侶、今牧師』というユニークなものです。どうしてこの松岡さんは、こんな転職をしたのでしょうか。

彼は東京の由緒ある天台宗のお寺の住職の次男として生まれ、自分で進んで仏教大学に学び、大学院まで卒業して僧侶になりました。さらに真理の探究にと、韓国の仏教大学に留学しました。そこで友人に誘われて教会に行きました。日本では、僧侶が教会に行くわけにはいかない。しかし、外国にいるのだから、この機会に他の宗教について知るのも、教養としてよいだろうと思い、軽い気持ちで行ったそうです。そして、聖書を学ぶ会に定期的に出席しているうちに、だんだんと聖書の内容に興味を持つようになったそうです。

ですが、どうしても納得のいかなかったのが「人間は皆罪人だ」ということでした。「自分は僧侶として、人よりはよいことをしている。悪い遊びや、人に迷惑をかけるようなことはしていない」という自負があったわけです。

ところがある日、いつもの学びの会の最後に、司会者が「みんなで一緒にお祈りしましょう」と言い、司会者の後についてみんなで祈ることになりました。彼はみんなと一緒にこう祈ったそうです。「私は罪人です。主よ、私の罪をお赦してください」と。そのときです。不思議に心が熱くなり、込み上げてくるものを押さえきれず、涙がとめどなく流れたそうです。そして心の中に何とも言えない、今まで経験したことのない平安と喜びが満ちてきたというのです。

次の日から、会う人ごとに「僕は罪が赦された。キリストに救われた」と話し出したのです。周りの人はびっくりして、「あんたはお坊さんじゃないか」と言うほどでした。そして帰国し、東京の神学校に入り、卒業して牧師になっているのです。

松岡さんは言います。「宗教が大切なのではない。罪赦されて、私たちが心の平安を持つことが大切なのです」と。

誰もが松岡さんと同じ転職とはいかないでしょう。しかし、誰でもキリストを知って、心の転職をすることはできるのです。

私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それらをちりあくと思っています。それは、私には、・・・キリストを信じる信仰による義、すなわち、信仰に基づいて、神から与えられる義を持つことができる、という望みがあるからです。

(『ピリピ人への手紙』3章8、9節)



6月25日は建築家アントニオ・ガウディ（1852-1926）が誕生した日。彼が設計し30歳の時にスペインの首都バルセロナで着工したサグラダ・ファミリア大聖堂（「聖家族」の意味）はいまだ建築中だが、公式発表では2026年に完成するという。



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中です。
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



7/1(土)「祈りのちから」佐野哲章さん

昨年日本で公開され、DVD化されたキリスト教映画3作品を紹介する3回目。今回は、映画の配給などを行っているソニー・ピクチャーズエンタテインメントで、昨年まで映画部門日本代表を務めていた佐野哲章さんに、映画「祈りのちから」について詳しくお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGin. ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

2017年度教会目標 「受けるよりも与えることを」

「主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」

(『使徒の働き』20章35節)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

